

1月の掲示板より

しょうちくばい いちまつ もんよう ちから 「松竹梅と市松にハートの文様 - マークのカ -」

しょうちくばい 「松竹梅」



新しい年が明るく幸せであることを願い、1月の掲示板は、おめでたいものを取り入れてみました。「松竹梅」、古くからおめでたい時に使われます。「松」は、風雪に耐えて冬の間も落葉せずに青々としており、樹齢も長いことから、縁起がよいとされています。「竹」は成長が早く、天に向かって真っ直ぐしなやかに伸びていく様は、天とつながるように感じられるため、神が宿る依代と考えられました。松と竹は、お正月の飾りの「門松」になります。「七夕飾り」にも笹竹が使われます。「かぐや姫が竹から生まれた理由もそうなのかも！」と納得してしまいました。「梅」は、まだ寒い季節に他の花に先がけてよい香りで華やかに咲くことから、苦しい境遇の中でも努力して人生の花を咲かせ実を結ぶ理想の生き方をイメージさせます。学問の神様と言われる、菅原道真が好んだ花とも言われています。水仙も寒い時に薫り高く咲く花で、縁起のよい花だそうです。お正月の花として飾られることが多いです。

★縁起の良い植物の代表とも言える「松竹梅」は、どのようなところで使われているか生活の中で探してみましょう。

いちまつもんよう 「市松文様とハート」



「市松文様」とは、色の違う2色の四角形が交互になった文様で、「石畳」と呼ばれていた文様ですが、江戸時代の人気歌舞伎役者であった佐野川市松が身に着けていた衣装から「市松文様」と呼ばれるようになります。「鬼滅の刃」の「竈門炭治郎」の上着と、「禰豆子」の帯の模様も市松文様ですね。2色の四角形がどこまでもつながっていくため、永遠や繁栄という縁起の良い意味をもっています。東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムや、公式キャラクターのミライトワとソメイティのデザインにもこの市松文様が生かされています。「鬼滅の刃」の登場人物の衣装を、文様に着目して見てみましょう。

ハート文様は、日本の古い建築や刀の鍔などによく見られます。これは、猪目文様といって猪の目の形をかたどったもので、魔除けの意味があります。



ちから 「マークのカ」

マークとは、記号やアイコン、標識、ピクトグラムなど、形や色の単純化されたもので、短い時間で見る人に情報を伝えることができます。文様も、願いや意味が込められています。

★オリンピック・パラリンピックや街の中のピクトグラム、生活の中のマークや文様などを見つけて意味や効果を考えてみましょう。



組市松のエンブレム



パラリンピックのピクトグラム

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/emblem/>



麻の葉文様



鱗文様



非常口の方向



1月の装飾「松竹梅に市松とハート」
令和3年1月 図画工作科 竹内ともし